

栄町共同書店の挑戦

ろうきょうセミナー第3回

副業・兼業・フリーランスの協働を実現する働き方
～労働者協同組合で広がる可能性！～

2025年10月29日(水)

栄町労働者協同組合 理事 篠田恵



栄町労働者協同組合とは



沖縄県那覇市・栄町市場で
シェア型書店
栄町共同書店を運営



国際通り

This is an aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a dense residential and commercial area. A yellow diagonal band, representing a road, runs from the top left towards the center. A brown U-shaped line, representing a railway, encircles a central area. A green rectangular area on the right side is designated as a market. A red dot is placed near the top right of this green area. Labels in white boxes with black text identify these features: '国際通り' (International Street) for the yellow band, 'ゆいレール 安里駅' (Yui Rail Anri Station) for the brown line, '栄町市場' (Ei-chō Market) for the green area, and '栄町共同書店' (Ei-chō Kyōdō Shoten) for the red dot.

ゆいレール
安里駅

栄町市場

栄町共同書店



シェア型書店事業概要



- 箱店利用料月額4,000円（税込）
×箱店主満枠68人＝メイン収入
- 支出＝店番人件費、家賃、光熱費
- 店番ボランティア（有償）も参加
- 初期費用はクラウドファンディング

組合員、働き方

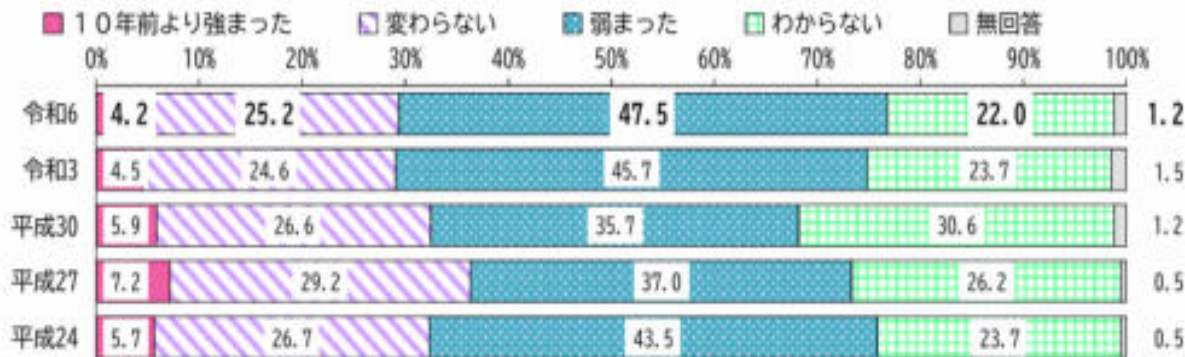


- 組合員 6名
- 全員30代
- 全員複業
研究者、編集者、芸術家、建築士
- 居住地 沖縄：東京＝3：3
- 出身地 沖縄：県外＝3：3

なぜ労協を立ち上げたか——共同性の再構築



10年前の沖縄に比べて、人と人とのつながりは強まったと思うか



出典：第12回県民意識調査

シェア型書店との出会い



- 2019年ころから普及していた「シェア型書店」の一つ、高円寺「本の長屋」に2023年に会う

- 箱店主は立場上は利用者だが、部分的に書店運営に参加

- シェア型書店＝ニーズに対応するための資源を皆で集める方法

大事にしていること①

ともに経営、仕事する努力

- オンラインでのリアルタイム情報共有
- 日々の小さな相談はLINE上で。
- 運営会議は月に1, 2回。議事進行は輪番で分担

ともに経営、仕事する努力

- 「だから言ったのに」を出さない
- 言っぱなしでなく次の人の発言につなげる
- 「利害・意見調整」ではなく、視点が変わり、自分の言葉で説明できるようになる
- 相手のことを強制的に考える→客商売も楽になる？

地域にひらく

- 地域＝箱店主、栄町市場事業者、来店客
- 箱店主を運営に積極的に巻き込む

地域にひらく



- 店番ボランティアにはお礼にお店で使えるチケットを渡す
- 街の人に本のある場所を提供するという「居場所」があり、ゆるやかに新しい人と出会える経験

大事にしていること②

地域にひらく



出典：〈好事例：栄町労働者協同組合〉私とあなたを幸せにする働きかた、はじめました
<https://www.youtube.com/watch?v=B6g3OD1MMSE&t=209s>

栄町市場に学ぶ

- 一時閑散→再生
- 共有利用、管理空間の多さ
：自治の蓄積
- 12月写真展「栄町市場のあゆみ」
：栄町市場組合主催、
栄町共同書店も協力



根無し草が求める重し

「こうして今までの1年間の活動を振り返ってみて、利益最優先ではなく何をしようとしていたのか——。それは、難しく言えば、共同体をつくろうとしていた。平たく言えば、居場所をつくろうとしていたということに尽きると思います。**私自身、自分が所属している共同体がないことに気づき、これはまずいだろうと思い至りました**」

出典：第133回労働政策フォーラム「シニアとフリーランスの新たな働き方の選択肢—労働者協同組合で事業を興す！—」
(2024年6月14日-19日) 労働者協同組合キフクト 報告

はたらく個人にとっての労協の可能性

根無し草が求める重し



出典：（好事例：栄町労働者協同組合）私とあなたを幸せにする働きかた、はじめました
<https://www.youtube.com/watch?v=B6g3OD1MMSE&t=209s>

根無し草が求める重し

- 不安、孤独をプラスに転化
- 労協「出資金」「意見反映」という一定の重し
- 箱店主＝個人の「好き」から始められる参入障壁の低さ

複業と労協

- 複業する個人にとって、労協の利点
 - 立場にかかわらず全員が対等に経営に参加
 - 複業でも「スキルの切り売り」ではない関わり方が可能
- 労協にとって、複業を取り入れる利点
 - 専業者に負担や調整機能が集まらない（＝権力が偏りにくい）
 - 小規模でも異なるスキルを集められる
 - ネットワーキングに有利

今後の展望

- 栄町共同書店を維持
- 労協を広める



栄町
共同書店

ご清聴ありがとうございました！